

キャラクター名	プレイヤー名
ココル・コル	

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	バード	Lv.1:	バード	性別	女
称号クラス				年齢	20
種族	フィルボル			境遇	師匠
出自(効果)	英雄			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	11	8	13	19	9	15	8
ボーナス	3	2	4	6	3	5	2
クラス修正	0	0	0	1	2	2	1
他修正							
能力値	3	2	4	7	5	7	3

HP	51
MP	76
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	赤き斜陽の剣	至近	0	5	0	0	0	-1	0
左手									
頭部	オリハルコンの髪飾り						3		
胴部	フィルボトラベルジャケット				2	4		2	
補助	フィルボブーツ				2	2		2	
装身具	奥義書								
能力値			2	0	4	0	7	9	8
スキル								3	
その他									
総計(右)			2	5					
総計(左)			2	0	8	6	10	15	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	7			7	+ 2 d
アイテム鑑定	7			7	+ 2 d
魔術判定	7			7	+ 2 d
呪歌判定	7			7	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
MPポーション×12	肉
バックパック	ポーションホルダー
野営道具	肉
ベルトポーチ	ポーションホルダー
おひねり	肉
クラブ	毒消し
果実(りんご)	えどさん
メイジハット	HHPP使った
ジュエルリング	HMPP
毒消し	HHPP
マジックスタッフ	MPP

現在重量:	15
最大重量:	18
所持金:	3860
預金・借金:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ニンプル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に行動値+3								
マジシャンズマイト	2	-	パッシヴ	-	自身	自動成功	5	
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
エアリアルスラッシュ	1	6	メジャー	20m	単体	魔術判定	1	
効果: 魔術判定+1D、ダメージは2D+5風								
マジックブラスト	2	3	ムーブ		自身	自動成功		
効果: 範囲「SL×2」体								
グレーブパイン	1		メジャー		自身	精神		
効果: 情報収集を精神判定で行う。精神判定+1D								
ファイトソング	1		セットアップ	20m	単体	自動成功	シナ1	
効果: シナリオ~回のスキルの使用回数を増やす								
エアリアルセイバー	5	-	パッシヴ		自身		5	
効果: 風魔法ダメ+「SL×4」								
エンチャントウェポン:火	1	5	メジャー	20m	単体	魔術判定		
効果: 対象の武器ダメを魔法ダメにする								
リゼントメント	1	-	攻撃と同時	-	自身	自動成功	シナリオ回	
効果: 魔法攻撃と同時に使う対象単体、ダメージにCL□10								
マジックフォージ	3	3	ダメージ0直前	-	自身	自動成功	シナ1回	
効果: ダメージに+S L×2d								
コンセントレイション	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: 魔術判定+1d								
エキスパート	1	3	マイナー	-	自身	自動成功	1	
効果: メイン中命中+1d								
ディジニ・ブリーズ	1		パッシヴ		自身		1	
効果: 物防-10								
オピニオン	1		ぱっしゅ					
効果: 交渉の精神ダイス+1								
モンスターロア	1		ぱっしゅ		自身			
効果: エネミー識別判定+1D								

英雄であった師匠に魔法のいろはを教えてもらったフィルボルの女性。  
 或る日突然消えてしまった師匠を探す旅に出る。師匠が多趣味だったため、何を見ても師匠の面影を感じて追いかけてしまう。  
 ゲリラライブで路銀を稼いでいる。  
 PC2

スメラギの剣 裏切りの応酬 古の湖底神殿 ポベートールの呼び声 久遠の魔女  
 つらつらと書いていたらSSになりそうな予感。つまるところは以下3行。  
 幼い頃に故郷が壊滅したが、運良く師匠に拾われて九死に一生を得る。恩人を慕い、姉弟子と戯れる日々を過ごして大人になっていく。生まれほど田舎、修行場は人里離れた僻地。魔法は綺麗で街は見たことのないものがいっぱい。消えてしまった師匠に会いたい毎日を過ごしつつも、旅が楽しくてしかたないココルなのでした。

\*\*\*  
 小さい頃の光景はうっすらと覚えてる。とても狭い世界で生きていたの。近くの小さな丘に登ると、端から端まで見ることのできる、そんな森の中にある小さな村。ノッポのお兄ちゃんとのんびり屋さんのお父さんとお母さん。おこりんぼのおじちゃんとかしかめつらのおばあちゃん。村に住んでいる人は数えるほどしかなくて、みんなみんな家族だった。一番小さなココルは、みんなが集まる食堂で歌を歌って過ごしていたの。小さな竖琴片手に歌うと、みんなが寝てくれたのが嬉しかった。  
 それらはほんの少し覚えていて、そんな日々はとても遠いおぼろげな記憶。そう、それはある日突然おこったの。穏やかな春の日。木苺を採りに森の少し奥に入っていた時、世界が壊れた。生き物の気配が消え、地面が割れ、森が燃える。遠くで獣のようなうなり声が聞こえた気がした。その時のことは恐怖からあまり覚えていない。  
 気がつくと、簡素な小屋に横たわっていた。全身が軋み、動かない。ひどくお腹が空いていた。長い、長い悪夢を見た気がする。半べそをかいていると、低く響く声が降ってきたの。おや運がいい、目が覚めたのなら峠は越えたようだね。落ち着いているのどこか人を見たようなおしゃべりの仕方をするおじいちゃんがココルを見下ろしていた。師匠との生活はその日から始まったの。いっぱい寝て、いっぱい食べて、走り回れるようになったある日、覚悟はいいかいと言っ

